



港区立 筭小学校

国際理解授業

2024

報告書作成

2024年 12月10日

筭小学校 コーディネーター 浦辺真理子、櫻井啓子

本年度開催 概要

開催日

2024年10月29日～11月1日

開催場所

箕小中学校 体育館

参加協力国

オーストラリア連邦 (低学年・中学年)

ドイツ連邦共和国 (高学年)

ポルトガル共和国 (中学年・高学年)

南アフリカ共和国 (低学年)

参加協力国 講師

オーストラリア連邦 (低学年・中学年)

オーストラリア大使館 Mr. Cody Williams 広報担当補佐官

ドイツ連邦共和国 (高学年)

ドイツ連邦共和国大使館

Mr. Sachio Howoldt 広報文化専門官

シュロート・ノア様

ポルトガル共和国 (中学年・高学年)

ポルトガル共和国大使館

木下眞穂様 文化広報担当

Ms. Rafaela Teves 文化部

南アフリカ共和国 (低学年)

南アフリカ共和国大使館

Mr. Paul Siljeur 参事官

Mr. Tebogo Teke 書記官

Ms. Sabina Mokono 書記官

北島まゆみ様 通訳

国別の授業の内容

流れや授業の様子



オーストラリア連邦

10月29日

2時限目 中学年

4時限目 低学年

授業の内容と流れ オーストラリア連邦

- 大使館、広報担当補佐官のウィリアムスさんの親しみのあるわかりやすい日本語での授業。パワーポイントの資料と、動画を使用の紹介。
- 自己紹介 ケアンズ出身、付近のグレートバリアリーフが有名
- クイズ形式でオーストラリアを効果的に紹介
- オーストラリアの国の大きさは？
 - ▶ 世界で6番目
 - ▶ 日本が20個も入ってしまう
 - ▶ 国の人口は、東京よりも少ない
 - ▶ 1平方メートルに日本では330人、オーストラリアは3人
- オーストラリアの主な都市の紹介
 - ▶ シドニー、ケアンズ、ブリスベン（場所と大きさ、人口、日本と比較して）
- オーストラリアで有名なアニメBluey 動画
- オーストラリア生まれの動物は？
 - ▶ カモノハシ、ハリモグラ、クオッカ、カンガルー、コアラ
- オーストラリアは何年前から人々が住んでいる？
 - ▶ 60,000年前、地球上でもっとも古くから人が住んだ国

授業の内容と流れ オーストラリア連邦

- オーストラリアにはどんな人々が住んでいますか？
 - ▶ マルチカルチャー、多文化の国で、色々が人達が住んでいる
 - ▶ 四人に一人が海外で生まれた人、2つの国籍を持っている人が多い
 - ▶ 学校のクラスにも、たくさんの国の人がいて一緒に勉強している。
- オーストラリアは英語以外にどんな言葉を使いますか？
 - ▶ 五人に二人の人が、家で2か国語を話しています。
- 児童からの質問
 - ① 有名な食べ物は何？ 「ベジマイト知っていますか？」
 - ② 日本の学校との違いは何？ 「教室が室内だけでなく、外の教室が多い」
 - ③ 人気のスポーツは何？ 「ラグビーとクリケット」
 - ④ 皆が好きなペットは何？ 「日本と同じ、犬と猫」
 - ⑤ 子供が好きなゲームは何？ 「日本と同じかな？」
 - ⑥ オーストラリアには、なぜ砂漠が多いのですか？
 - ⑦ オーストラリアの国旗の意味は？
- 児童たちからの質問が続き、なかなか前に進まない位の活発な授業となりました。
- Brueyの動画は、オーストラリアの生活を楽しく知る機会として、全ての学年の児童たちは楽しそうでした。
- オーストラリアは身近な国として、既に多くの知識を持っていた子供たちにとっても、新鮮な授業の様子でした。



児童の感想 オーストラリア

1年生

- グレートバリアリーフの海がきれいだった。
- 綺麗な海で、サンゴを見たい。
- オーストラリアは日本20個分なんて、とっても広い。
- 本物のカモノハシを見てみたい。
- スポーツを見るために、オーストラリアに行きたい。
- ブルーイのビデオが面白かった。

2年生

- コアラやカンガルーを実際に触りにオーストラリアへ行きたい。
- オーストラリアに砂漠があることを知り、驚いた。
- ファインディングニモの舞台だとは知らなかった。
- 説明が分かりやすかった。
- 季節が2つあることに驚いた。
- 自然豊かな国なのと思った。

3年生

- オーストラリアのアニメが面白かった。
- オージービーフを食べてみたい。
- グレートバリアリーフは日本と同じ大きさだということを知った。
- オーストラリアは、世界で6番目に大きい国だと初めて知った。
- 学校では、子ども達が給食ではなくお弁当を食べることが楽しそうだなと思った。

4年生

- 人口が日本より少ないが、面積は日本より広いことに驚いた。しかし、真ん中に砂漠があるからだと知り、納得した。
- ケアンズでは、1年中海で遊ぶことができると知り楽しそうだった。
- ベジマイトがとても美味しそうだった。
- カンガルーやコアラのほかに、エミューという生き物がいることがすごいと思った。
- 2つの季節と聞いたとき、「夏と冬かな。」と思ったけれど、雨が降る日と降らない日という分け方で、驚いた。

先生の感想 オーストラリア

1年生

- 授業後に、子どもたちは「グレートバリアリーフの海がきれいだった!」「日本20個分なんて、とっても広いね。」「本物のカモノハシを見てみたい!」という声があがりました。
- 今回お話しいただいたことが、日本だけでなく世界の様々な国に興味をもつ貴重なきっかけになりました。私たち日本人教師では伝えきれない言葉や文化を、実際にオーストラリア大使館のMr. Cody Williams様に教えて頂くことで、子どもたちはよりよい学びを得られたと感じております。
- また、私たち自身も、様々なルーツをもつオーストラリアの人々が、互いの文化の良さを生かしてひとつの国を作り上げている様子に深く感銘を受けました。

2年生

- 授業後に、子どもたちから感想を聞いてみると、「オーストラリアに行ってみたい!」「動物がたくさんいていいなあ!」「グレートバリアリーフがきれいで見てみたい!」と話題が尽きませんでした。世界には日本とは全く違う文化、環境があることに驚きつつ、本やインターネットなどからだけでは得ることができない、実際にお話を伺うことによって興味関心が広がる貴重なきっかけになりました。

私たちもお話を聞くまでは、オーストラリアといったら「コアラやカンガルーの動物がいる」というイメージが強く、広大な土地であること、豊かな自然や動植物、おいしい食べ物の話などを教えていただき、オーストラリア観光に行ってみたいと思いました。かわいいコアラのぬいぐるみもありがとうございました。教室に飾らせていただいています。

3年生

- 先日は、本校の「国際理解授業」でお話しいただきまして、誠にありがとうございました。日本との違いを分かりやすく教えてくださったことで、子ども達はさらにオーストラリアについて関心をもつことができました。有名な都市の位置や人口をクイズで教えてくださったり、有名なアニメを見せて下さったりと工夫して頂いたお陰で、子どもたちも一層楽しみました。
- 子どもからは「グレートバリアリーフに行ってみたい」や「オーストラリアにいる動物を見たい」という感想が多くありました。また、ご出身の街の写真などは私たち教員にも大変印象的でした。

4年生

- オーストラリアでの人々の生活や文化について分かりやすく教えていただきました。グレートバリアリーフについても詳しく教えてくださり、「こんなきれいなところがあるのか!」「オーストラリアに行って、見てみたい!」など子供たちも興味をもって聞くことができました。
- また、シドニーやメルボルンについての説明を聞くと、子どもたちは人口の違いに驚き「首都のメルボルンよりシドニーの人口が多いのか。」と教室に戻っても話していました。
- イラストや写真を使って説明して下さり、子どもたちにとってイメージしやすく考えやすい内容になっていました。日本との違いだけでなく、似ていることも教えていただき、私たち教員もとても興味深く聞くことができました。



ドイツ連邦共和国

10月31日

4時限目 高学年

授業の内容と流れ ドイツ連邦共和国

- 大使館、広報文化専門官のボーボルトさんのわかりやすい日本語での授業。ノアさんも参加。
- ドイツにおけるSDGsの取り組みを中心に紹介。

海外から見たドイツのイメージは何でしょう？

- ▶ イメージ：勤勉である？時間に正確？早起き？学校は7時45分から13時まで。
- ▶ イメージ：ベジタリアン？車好き、ユーモアのセンスがゼロ、天気が悪い、散歩好き・・・
- ▶ これらは大体あっている。ドイツ人は普通3時間歩く。

環境先進国、エコ先進国としてのイメージ

SDGs 上位国ドイツとは？

- 2030年までに80%再生可能エネルギーにする目標
- 2020年に原子力発電所をすべて止めて廃止した
- 節電の都市・環境首都と呼ばれるフライブルグの成功例
 - ▶ グリーンシティとして再生エネ100%、最先端エコシティとして世界で注目
 - ▶ 市役所の屋根と側面全体はすべてソーラーパネルで、電力を一切使わない

授業の内容と流れ ドイツ連邦共和国

- ごみの取り組み・ごみを出さない取り組み
 - ▶ 家庭のごみを5種類に分け、厳しく管理
 - ▶ 燃える燃えないでなく、リサイクルできるかどうかで分類
 - ▶ 瓶やペットボトルを店に持っていくとお金が戻るシステムがあり、子供たちのこずかいになる。
- 冬になると家畜や野生動物の餌がなくなるドイツ、子供たちはドングリやクリを拾い、グミの会社HARIBOに届けるとグミと交換してくれる。（企業の社会貢献活動の例）
- ドイツと日本の繋がり
 - ▶ 正式な交流160年の歴史があり、共通点が多い
 - ▶ 鎖国時代にも長崎から、西洋医学をつたえた
 - ▶ 群馬の草津温泉を発見したのはベルツ博士
- ドイツと日本
 - ▶ 日本にあってドイツにない物：夏休みの宿題
 - ▶ でも、普段の宿題はとても多い！

授業の内容と流れ ドイツ連邦共和国

• ドイツ語で便利な言葉 **Bitte** 覚えましょう！

- ① レストランで注文したい時... **Bitte!** (すみません)
- ② 注文をうける時... **Bitte!** (何にしますか?)
- ③ 人に何かを促す時... **Bitte!** (どうぞ)
- ④ 順番を譲る時... **Bitte!** (お先にどうぞ)
- ⑤ 電話に出る時... **Bitte?** (もしもし)
- ⑥ 聞き返す時... **Bitte?** (え?なに?)
- ⑦ 人に何かを勧めたい時... **Bitte?** (いかがですか?)
- ⑧ 聞いた話が信じられない時... **Bitte!?** (うそおマジ!?)
- ⑨ お礼を言われた時... **Bitte!** (どういたしまして)
- ⑩ 頼み事がある時... **Bitte!** (お願い!)

• 児童からの質問

- ペットボトル返金は一本いくら? 30~40円くらい。
- 休み時間は何をする? サッカー、ボール遊び
- **Bitte**以外で、便利な言葉は? 日本語と同じ意味で同じ発音 **Aso!**
- **Daylight Saving**の取り組みはある? 冬時間と夏時間で、努力している。
- ドイツのお金は? 今はユーロ、昔はマルク
- 小学生が好きなお菓子は? チョコレート・グミ
- 有名なスポーツは? サッカーは盛ん。意外と知られていないのはバスケット天国。
- ドイツの学校時間は? 朝7時45分に始まり、13時6時限目でおわる。



児童の感想

5年生

- 紹介してくれたドイツフェスティバルに行きたいと思った。
- どんぐりを工場に送ると、ハリボーがもらえるなんて面白い。
- 日本にはないサービスがあり、興味をもった。
- シンデレラ城のモデルになった城があると知り、驚いた。
- 学校の1時間目が早くから始まることに驚いた。自分は早く起きる自信がない。

6年生

- ペットボトルを機械に入れるとお金が出てくるシステムを、日本にも導入すべきだと思った。
- その取り組みによって、日本もゴミが落ちているということがなくなるのではないか。
- どんぐりや栗5kgでグミ1kgと交換できることに驚いた。
- 夏時間と冬時間があることに驚いた。
- SDGs大国であり、国の人々が協力して取り組んでいてすごいと思った。

先生の感想

5年生

- ドイツの文化や生活について分かりやすく教えていただきました。「木の実を工場に持っていくとグミに変えてもらえるのか!」「SDGsに熱心に取り組んでいることに驚いた。」と、学んだことを友達と嬉しそうに話していました。
- 写真やイラストが豊富な資料を用意して下さっただけでなく、クイズや州の名前の言い換えなどを用意していただき、子どもたちは楽しみながら学ぶことができました。

6年生

- 子ども達は、ドイツのSDGsの取り組みについて特に興味をもっていました。ビニール袋の廃止や街中のクリーン活動など、環境に対しての意識の高さに驚きの声があがりました。「たくさんの取り組みを聞き、自分たちの意識が変わった。」という感想も聞こえてきました。
- 児童の事前質問について丁寧に答えていただいたことにより、興味関心をもって話を聞くことができたと思います。また、日本語で伝えてくださった点についても子どもたちの心に残ったようです。



南アフリカ共和国

1 1 月 1 日

4 時 限 目 低 学 年

授業の内容と流れ 南アフリカ共和国

- 大使館、参事官のポール・シルジュエさんを中心に、書記官テケさん、書記官モコノさん、そして通訳の北島さんの英語と日本語での授業。入場から大歓迎！
- 低学年の児童たちは興味津々、ポールさんから「後でクイズするよ、よく聞いてね」の言葉でスタート。

南アフリカの地理

- 南アフリカはどこにあるでしょう？
 - 飛行機で24～30時間。
- 首都が3つある。世界でここだけ。3つの都市で役割と機能を分散。
 - ケープタウン（立法）、プレトリア（行政）、ブルームフォンテン（司法）
- 日本の3倍の広さの国、でも人口は日本の半分

”虹の国”南アフリカ

- 南アフリカは「虹の国」と呼ばれる、なぜ？
 - 虹はたくさん色が重なっている。南アフリカたくさんの民族で成り立つ。
 - 多くの人種、多くの文化、多様性が特徴の国。
- 南アフリカの公用語、正式に11もの言葉がはなされている。
- 国家も、5つの言葉でできている。
 - 動画と一緒に、歌手でもあるテケさんが、国歌を歌ってくれた。

授業の内容と流れ 南アフリカ共和国

- 南アフリカのお料理は？
- 南アフリカの有名な歌、“ショショローザ”を動画でみる。
- 南アフリカの楽しいダンス、“ガンブーツダンス”も動画でみる。
- 南アフリカは動物の王国！動物ビッグ5は？
- 映画ライオンキングは南アフリカでのお話し、実写版とアニメの動画を見る。
- 日本で買える南アフリカの名産品は？
- お約束のクイズ！
 1. 南アフリカの首都はいくつある？
 2. 南アフリカの言葉（公用語）はいくつある？
 3. 南アフリカの国歌は、いくつの言葉でできている？
 4. 南アフリカを代表するスポーツは？
- 最後に、“ありがとう”を11の言葉で。

授業の内容と流れ 南アフリカ共和国

児童からの質問

- ① 危険な動物は？ ライオン
- ② 南アフリカの動物の全部の数は？ 多分200万匹（頭）
- ③ なぜ11の言葉があるの？ 多くの人種多くの文化を大切にしたいから・
- ④ ペットは？ 犬、猫、ハムスター、亀など
- ⑤ 有名な人は誰？ 前の大統領ネルソンマンデラ
- ⑥ どんな服を着るの？ 多くの文化があるので、服も文化に合わせて多様。でも、普段仕事をするときは、普通の服。

親しみのある南アフリカ大使館の皆さんに、入場から児童たちは手を振ってお迎えして、たくさんのお話を集中して聞いていた。

国歌をテケさんが歌ってびっくり！

ショショローザの動画、ガンブーツダンスの動画では、児童はノリノリで、体をゆすっていた。

ライオンキングの珍しい動画の比較は、引き込まれる様子。

最後のクイズは、全員が、しっかりと答えていた。

授業の後、学校を回って見学。

児童の感想

1年生

- 南アフリカにペンギンがいることに驚いた。
- 日本から30時間かかることを知り、驚いた。
- 南アフリカの生き物を調べて、詳しくなりたい。
- 綺麗な歌をありがとうございます。
- 花がたくさんあることや、ゾウがいることを知り、行ってみたいとなった。
- 南アフリカのダンスを踊りたい。

2年生

- 南アフリカ共和国は、日本が3個分も入る広さということが驚いた。
- 動物の王国と言われていることがすごい。
- ブーツで踊ると知って、すごいと思った。
- 南アフリカには、いろいろな外国の人がいると初めて知った。
- ビーズの洋服がかわいかった。
- 虹の国と言われていることや、言語が11種類あることがすごいと思った。

先生の感想

1年生

授業後に子どもたちと国際理解授業について話をしていると、「歌が楽しかった！」

「11か国語も言語があるなんてすごい！」「動物がいっぱいいいて本当にライオンキングの世界みたいだった！」という声が上がりました。今回お話しいただいたことが、日本だけでなく世界の様々な国に興味をもつ貴重なきっかけになりました。私たち日本人教師では伝えきれない言葉や文化を、実際に南アフリカの皆様に教えて頂くことで、子どもたちはよりよい学びを得られたと感じております。

私たち自身もまた、ワールドカップの試合の放送で目にしたことのあるブブゼラの、本物の音色を耳にして、南アフリカの文化の豊かさ、力強さに心躍る時間となりました。

2年生

授業後、振り返りを子どもたちとすると、「シュシュローザすごくたのしい曲だったね！」「ガンブーツダンスってすごいよね。」「ブブゼラってどこで売られているの？吹いてみたい。」などたくさんの感想が出てきました。

今回のお話を伺い、これまで知らなかった南アフリカ共和国のことについてたくさんの方が知れて子供たちも大変喜んでいました。

南アフリカが虹の国と呼ばれ、多文化の中で暮らしていること、多くの言語が公用語として使われていることなどにも触れ、子どもたちにも良い学習ができたと思います。国歌の生歌唱やブブゼラの演奏に加え、子どもたちの質問にも丁寧にお答えいただきありがとうございました。



ポルトガル共和国

10月31日

2時限目 高学年

11月1日

2時限目 中学年

授業の内容と流れ ポルトガル共和国

- 筭小学校に最も近いポルトガル大使館から、文化広報担当の木下さんとテヴシュさんが参加し、高学年と中学年に、別々の内容の授業を行ってくれた。
- 高学年には、「日本とポルトガルの交流の歴史」を中心に、大航海時代にどのように日本と出会い、相互に影響し合ったかを詳しく説明。
- 中学年には、「ポルトガルと日本」の関係と、共通のことばや物を楽しく紹介。
- **【高学年授業】**
- ユーラシア大陸の西の果てはポルトガル、東の果てが日本。
- 国土は日本の四分の一、九州の2倍、人口は日本の十分の一、東京より少ない。
- 国旗の色の意味は？赤は血の色、緑は試練と希望の色。
- ポルトガル王国は12世紀1143年に建国。首都リスボン
- ポルトガル語は、小さな国なのに世界で8番目に多く話されている。
 - アフリカ、ブラジル、アジアの9か国語で公用語となっているのは？
 - 南半球では、最も話されている言葉がポルトガル語はなぜ？
 - それは、15世紀にはじまった大航海時代に関係している。

授業の内容と流れ ポルトガル共和国

• 15世紀にはじまる大航海時代

- ポルトガルから出発して、アフリカ、インド、東アジアに到達。また、ポルトガルからブラジルにも到達。途中に上陸した国々では、現在もポルトガル語が正式な公用語として話されている。

• 大航海時代の歴史

- 1434年 地球は丸くないと思われていた、ジルエアネスが西の果ての岬を超えて、アフリカに向かい、大航海時代の始まり。特に香辛料をもとめて。
- 1488年 嵐に巻き込まれながら、やっとアフリカの南端の喜望峰に到達
- 1498年 ヴァスコタガマがインド航路を発見。
- 1500年 ブラジルの発見。
- 1519年～1522年 マゼラン世界一周
- 1543年 ポルトガル人3人が、種子島に漂着！鉄砲伝来。
- 1549年 キリスト教伝来について
- 日本が初めてであった西洋がポルトガル。日本人の見たポルトガル人、ポルトガル人の見た日本。初めての日本語の辞書もできた。
- 交易が始まり、様々なものが行き交った。

授業の内容と流れ ポルトガル共和国

• 高学年の児童の質問

1. ポルトガル語の挨拶は？ オラ
2. 日本語からポルトガル語になったのは？ 屏風、茶碗など
3. 塩コショウなど、香辛料がなぜ宝だった？ 当時、食べ物を美味しくするだけでなく保存するために大事だった。
4. どんな料理が多い？ タラの料理、塩たらを水でもどして使う。これは、大航海時代の名残。
5. ポルトガルのお菓子は？ エッグタルトなど卵黄を使ったお菓子。多くの卵白は教会で使われ、卵黄が残ったので、卵黄のお菓子が多い。
6. ポルトガルの学校について。

高学年の授業では、大航海時代から日本との出会いとその後の交流や、歴史を詳しく説明されて、児童たちは、たくさんの知識を得ながら、メモを取るのに忙しそうだった。

ポルトガルの今や、ポルトガルの子供たちの生活などは、今回は聞くことができなかったが、今後学ぶポルトガルと日本の関係について、しっかりと印象に残ったようだ。

授業の内容と流れ ポルトガル共和国

【中学年授業】

- 地理、言葉、大航海時代などは、高学年と共通した内容を簡単に紹介。
- 日本が初めて会った外国のポルトガルの影響について
- ポルトガルから日本に伝わって、同じ言葉が使われているのは？
- カステラ、金平糖、パン、てんぷら、ボタン、かるた、コップ、シャボン、オルガン、たばこ、フラスコ、じょうろ、おんぶ
- ポルトガルの料理：パン、オリーブオイル、ワインが基本。レフォガードが美味しい！
- デザートは絶対に欠かせない。エッグタルトなど卵黄の黄色のデザートがたくさん・

クイズ

1. 一番人気のスポーツは？ サッカー。ロナルド？メッシ？どっちがポルトガル人？
2. 南蛮柿はどっち？ かぼちゃ？イチジク？
3. ポルトガル人がヨーロッパで一番食べるのは？ 米？大豆？
4. 世界でポルトガル語を話す人は何番目？ 6番目？16番目？
5. ポルトガルのピリピリはどんな意味？

授業の内容と流れ ポルトガル共和国

【中学年授業】

• 中学年の児童からの質問

1. ポルトガルの昔遊びは？ コム飛び、かくれんぼ
2. ポルトガルの景色は？ 海に囲まれていて、太陽が海に沈む夕焼けは素晴らしい
3. 日本からポルトガルに行くには？ 直行便がないので、パリ、フランクフルト、マドリッドなど経由で16～18時間かかる
4. 山はありますか？ あまりない、北の地域に2000メートルの山がある。
5. 人気のあるアニメは？ ほとんどが日本のアニメ。
6. 日本の食べ物は？ お寿司が大ブーム。ラーメンも大好きな人が多い。
7. どの都市が訪問するのにおすすめですか？ リスボンは楽しいので、ぜひ。
8. 一番長い橋は？ リスボン近郊のバスコダガマ橋は、17キロ。
9. 世界遺産はいくつある？ 文化遺産が16、自然遺産が1ある。

中学年の児童にわかりやすく、日本とポルトガルの歴史上の関係や、今につながる関係を楽しく紹介され、ポルトガルに大いに興味を持ったようだ。

ポルトガルでは、世界から若者が、サッカー留学や、バレエ（舞踊）留学が多いことの紹介では、興味ある児童たちから、大きな反応があった。



児童の感想 ポルトガル

3年生

- ・ポルトガルでお米が食べられているとは思わなかった。
- ・言語が、日本語と似ていて面白かった。
- ・気になったことは、ポルトガルの人がお米の上にイチゴを乗せて食べること。
- ・海に沈む夕日を、ポルトガルに行って見てみたい。
- ・どの料理も美味しそうだったけれど、気になったのは野菜たっぷりのスープ。

4年生

- ・金平糖がポルトガルのものだと知らなかった。
- ・ポルトガルで寿司がブームだという話が印象に残った。
- ・天ぷらが日本発祥ではないことに驚いた。
- ・国旗について、赤は天気、緑は平和という意味が込められていることを知り、驚いた。
- ・日本とポルトガルの歴史について聞くことができ、よかった。
- ・言語が日本と似ていてびっくりした。

5年生

- ・ボタンやコップはポルトガルからきた言葉だと初めて知った。
- ・ポルトガルの人が太平洋を初めて横断したと聞き、びっくりした。
- ・サーフィン大国だと知り、行ってみたいと思った。
- ・日本との貿易のことについて、話が分かりやすく、覚えることができた。
- ・リスボンの写真を見て、風景が綺麗だと思った。

6年生

- ・ポルトガルの風景や、大航海時代の様子を知ることができてよかった。
- ・「地球が途中で途切れていて、崖になっている。」という昔の人の考え方が面白い。
- ・さまざまな国がポルトガル語を使っていて、ポルトガルについてさらに興味をもった。
- ・ポルトガルに実際に行き、日本にはない街並みの美しさや、食文化について触れたいと思った。
- ・楽しそうな祭りがあり、参加してみたいと思った。

先生の感想 ポルトガル

3年生

- ポルトガルの文化や生活について分かりやすく教えていただきました。昔から日本と関わりの多いポルトガルについて知り、改めて私たち教員も、日本の文化についても相対的に知るきっかけとなりました。
- また、ポルトガルの国旗や食べものなど、子どもにもなじみのあるものを紹介していただいたことで、子どもたちも興味をもって聞くことができました。「日本で使っている言葉がポルトガルから来たことを初めて知った。」「ポルトガルで有名なお菓子を食べてみたい」という感想が多く出ました。

4年生

- 丁寧に分かりやすく説明してくださり、子供たちは興味をもって聞くことができました。
- クイズを使っの説明は、子供たちにとって楽しく学びにもつながりました。その中でも、ポルトガルからきた言葉を紹介していただき、「え！てんぷらもポルトガルからきたの！」「たくさん日本とつながりがあるのか。」という感想をもちました。
- イラストや写真を使って説明してくださり、子どもたちにとってもイメージしやすく考えやすい内容をご準備くださいましたこと、感謝申し上げます。

5年生

- ポルトガルの文化や生活について分かりやすく教えていただきました。ポルトガルでは、「ボタンやコップがポルトガル語ということに驚いた！」「景色が美しく、行ってみたいくなった」など、学習したことを振り返りながら楽しそうに話していました。
- 日本との違いだけでなく、似ていることも教えていただき、興味深く聞くことができました。また、質問に対して丁寧に答えていただけたことが、子どもたちはとても嬉しかったようです。

6年生

- 子どもたちは、ポルトガルと日本の関係について特に興味をもっているようでした。
- 「鉄砲伝来だけでなく、日本から食器や刀が送られていたことを知り、驚いた。」や「日本語にはポルトガル語由来の言葉があって面白い。」という声も聞こえてきました。初めて知ることばかりで、児童にとってとても貴重な経験になったと思います。
- 6年生児童は今後、社会科でポルトガルと日本の交易関係も学んでいきます。児童が、より興味をもって歴史を学べるまたとないきっかけを提供してください、感謝いたします。

筭小学校 校長先生から

毎年、3名のコーディネーターの皆様のボランティアにより、各国大使館との交流が継続できていることに感謝し、幸せな学校であり、幸せな子どもたちであると感じております。子どもたちにとっては、区内に大使館が多くあると知ってはいても、本校に毎年、各国の大使館の職員が実際に来校していただくことで改めて実感しているものと思います。講師の講話により、各国の位置や人口、気候をはじめ、衣・食・住、様々な文化などを紹介していただくことを通して、多くの子どもが外国に興味をもち、人や文化の違いを認める国際理解教育を推進していただいています。また、本校に多く在籍する外国にルーツがある、また、その国に親しみのある子どもや保護者にとっても、大変興味深く、好感をもって参加していると思います。一方、コーディネーターとの連絡・調整については、教員が担当することもあり、十分な対応ができていないことは課題でもあり、これからも善処してまいります。

授業見学の保護者の声

- ポルトガルは行ったことがなかったので今回お話を伺って文化や伝統についても触れることができ大変興味深かったです。帰宅後も娘とフィードバックをしましたが、気候に恵まれ日本とも歴史的な繋がりのあるポルトガルにいつか訪れてみたいと思いました。貴重な機会をありがとうございます。
- 実際に大使館の方々に講師として来ていただいて、お話を聞くことができ、児童たちも興味津々といった様子だったのが印象的でした。ポルトガルと日本は遠く離れているけれど、500年ほど前から交流があり、日本が多くの文化的影響を受けていたことも知ることができ、ポルトガルに親しみ、関心が深まったと思います。
- 実際に大使館の方からお話をお聞きできる事は、本やウェブサイトとは全く違いますし、子どもたちの沢山の質問にも丁寧に答えて頂けて、嬉しく思いました。日本で生活しているとどうしても、外国で生活している人は英語を話すと考えてしまう事が多いように思い、このようなお話をお聞き出来ると、多くの文化とともに多くの言語がある事なども実感できるように思います。私も大変勉強になりました。また出席できる機会がありましたら、大変嬉しく存じます。長女の頃から国際理解授業が行われていたのは知っていましたが、実際に参観に伺ったのは初めてでした。
- 低学年の子供達にもわかりやすく、時には映像を使ったり、本物の楽器を弾いてくださったり、日本との違いなど比較しながら、南アフリカのことをたくさん教えてくださって、とても楽しい時間でした。
- 最後に子供達からたくさん質問の手が挙がったのも、とても素敵なことだなと思いました。
- 娘は、授業の後も、家で時々思い出すのか、南アフリカのことについて話題にします。中でもブブセラは印象的だったようです。筈小には色々な国籍だったり、ミックスのお友達も多かったりするので、幼い頃から多様性の中で育っていますが、外国を知る機会は意外と少ないので、このような機会を学校で設けてくださって有難いです。
- 大変興味深い授業で楽しく参観させて頂きました。ぜひ他の国も聞きたく、子どもたちにとってもよい機会、今後も続けていただきたい取り組みと思います。
- 小学生のうちから、世界の色々な国の事をその大使館職員から学ぶ事が出来るのは、とても良い機会だと思う。南アフリカの授業も大変面白かったです。娘は南アフリカも聞きたかったと話しておりました。
- お教室やオペレーションの問題もあると思いますが、いくつかの国を生徒（や保護者）が選択して受けられる機会があれば嬉しく思います。
- 有意義で楽しい企画でした。他の国のもお願い致します。小学生向けだからか紹介が簡単だったように思いました。産業や有名企業、世界やユーロにおける立ち位置など情報量を増やしていただけると良かったと思います。

大使館からのメッセージ！

低学年 南アフリカ共和国

皆様がすばらしい準備態勢でいてくださったおかげで、スムーズに講義をすることができました。数ある国の中から南アフリカにこのような機会をいただき、ありがとうございました。

はじめ、港区の小学生というと、講義にのってくれるか心配でしたが、皆さん子供らしく反応してくださったので安心しました。一列目に座っていた女の子が、南アフリカに住んでいたと真っ先に言ってくれたことにも驚き、小学1年生か2年生で、すでに南アフリカと縁がある子がいることを嬉しく思いました。外交官たちも、とても楽しんでいましたし、講義後、学校をみせていただき、給食係、音楽室に沢山の楽器があったこと等、南アフリカにないシステムにも感銘をうけていました。（Mr.Paul Siljeur 北島まゆみさま）

低学年と中学年 オーストラリア連邦

My impressions of Kougai school were very positive. The teachers were very welcoming, and the students were energetic and lively. The students from the four classes were very engaged, which made the class very productive. I was also very impressed by how much the students already knew about Australia.

（筈小学校の印象は非常に良かったです。先生方はとても温かく迎えてくださり、生徒たちは元気で生き生きしていました。4学年の生徒たちはとても熱心に取り組んでくれて、授業はとても有意義なものになりました。生徒たちがすでにオーストラリアについてよく知っていることにもとても感銘を受けました。）（Mr.Cody Williams）

大使館からのメッセージ！

中学年と高学年 ポルトガル共和国

千代田区におりましたころも目の前にある小学校とは定期的に交流をしておりましたので、筈小学校との交流のきっかけをいただき、御礼申し上げます。

今回は4学年分のみなさんにお話をしたことになりますが、学年にかかわらず、生徒のみなさんがとても元気がよく、積極的なことがわかりました。ご挨拶も丁寧にしてくださり、話も熱心に聞いてくださって、うれしかったです。

とくに3・4年生からは質問が次々に出てきたことが印象的でした。自分で考える、わからないことは訊ねる、好奇心を持つ、という教育をしっかりされているのだろうと、僭越ながら感じました。今後とも是非宜しくお願い申し上げます。（木下眞穂さま）

高学年 ドイツ連邦共和国

レクチャー中、熱心に興味をもってお話しを聞いてくれたことが良かったです。

また生徒達から色々な質問をいただいて嬉しかったことと、レクチャーに向けてドイツについて色々調べていただいたのであろうことが特に印象に残りました。

お陰様でレクチャーする側としても大変楽しい時間を過ごすことができました。

この場を借りて関係者の皆さまに改めまして感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。（Mr.Howoldt Sachio ホーボルト・幸夫さま）